

2006 年度

科目名 ドイツ語Ⅰ（コミュニケーション）	対象学科・学年 文学部日文1回生 教育教福1回生 文学部英米1回生 人間人社1回生 文学部教福1回生 文学部文財1回生 文学部コミ1回生	担当者 伊東 史明
授業テーマ ドイツ語の基本構造及びドイツの生活文化とコミュニケーション		
授業の概要と目標 ドイツ語の基礎を学習していきながら、ドイツの社会・風俗・生活習慣の説明を行い、彼我の文化の相違について考えていきたい。1年間で簡単な買い物などのコミュニケーションもできるようにする予定。 尚テキストの1～3課はもっとも基礎的な部分であり、ドイツ語を形作る根本である。ここで決して遅れをとらないように。予習は必須。予習してこないものは出席と認めないから心しておくこと。しかし何よりも楽しく学ぶことが大事である。これまで知らなかった文化や街を知る楽しみを見出して欲しい。授業には独和辞書必携。私語は厳禁。		
評価方法 年2回の定期テスト及び授業時の予習と発表状況。とくに予習と復習に関しての平常点は重視する。 出席は必ず2/3以上のこと。		
テキスト ドイツ語インフォメーション	著者 秋田静男 他	出版社 朝日出版社
参考書 辞書に関しては最初の時間に紹介する。それ以外は特になし。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 【前期】 1～3. ドイツの現状・ドイツ語の欧州語としての文化的位置・発音・数字 4～5. Lektion 1 人称代名詞。動詞の現在人称変化 6～7. Lektion 2 sein と haben 【ドイツの大学】 8～9. Lektion 3～4 定冠詞(類)と不定冠詞(類) 【ショッピング】 【サッカー】 10～11. Lektion 5～6 不規則変化動詞 【ドイツの都市】 【アイスカフェー】 12～13. Lektion 7 前置詞 【ドイツの旅事情】 14～15. 動詞の復習 【後期】 16～17. 冠詞と動詞の復習。 Lektion 8 話法の助動詞 【ユーロ】 18～19. Lektion 8～9 話法の助動詞と分離動詞 【ドイツの料理】 20～21. Lektion 9～10 命令形。形容詞。再帰動詞 【ドイツのクリスマス】 22～23. Lektion 11 動詞の3基本形。過去形 24～25. Lektion 12 過去分詞 26～27. Lektion 12 現在完了形 28～30. 受動態		